

物価高騰からくらし・ 営業を守るために全力

2025年6月議会報告

6月定例会市議会(6月2日～21日)の内容と日本共産党市議団の政策・活動を中心にお伝えします。なお、議会での詳しい様子は市議団のホームページの記事でも紹介していますので、ぜひご覧ください。
ご意見・ご相談もこちらからどうぞ →



日本共産党蕨市議会議員団

左から、武下涼、鈴木智、やまわき紀子の各議員
～2025年6月 市役所5階・議場にて～

市長提出議案 すべてを可決・承認 新たな学童保育室(南町)整備の補正予算など

9月定例会市議会では頼高英雄市長が提出した条例案や補正予算案など計12件を審議し、すべてを可決・承認しました。主な内容は、蕨市立病院を国民健康保険診療施設として位置づけるための国保条例改正、南小学校区で新たに民間留守家庭児童指導室を整備することや旧中山道通りへのにぎわい交流拠点整備などを盛り込んだ補正予算などです。



日本共産党市議団の一般質問項目

主な項目は以下の通りです。

- ◆市民の暮らしを支える物価高騰対策 ◆戦後80年・平和都市宣言40周年と平和行政 ◆エコシティわらびへ ◆子育てするならわらび子育て支援策 ◆信頼され期待される市立病院をなど。詳細は2面に掲載。

陳情「くらし守れ」切実な思いを代弁 日本共産党が賛成討論 採決では保守・公明・維新の反対で不採択に

6月議会で審議された陳情は、『安全安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める意見書』を国に提出することを求める陳情と『国に『消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止の意見書』提出を求める陳情書』の2件。日本共産党は、最終日の本会議でそれぞれの陳情に賛成討論を行い、無所属の議員なども賛成したものの、新翔会(当時・保守系)、公明党、維新の会が反対し不採択となりました。

安全安心の医療・介護のために 人員確保と処遇改善を!

現状の厳しさは深刻であり、安心できる制度にしていくために政治の責任は重大です。「大企業や富裕層が能力に応じて負担し、5年間で43兆円も増大する防衛費などを見直せば、医療費4兆円の削減などせず、安心して医療や介護が受けられる社会保障予算は確保できます。国はふさわしい責任を果たし、ケア労働者の賃上げや医療介護の労働環境の改善、公立・公的病院を拡充・強化、患者・利用者の負担軽減をすべき」と訴え、賛成を表明しました。

小規模事業者を苦しめる消費税の インボイス制度は廃止を!

インボイス制度導入以来、重過ぎる課税や事務負担など、免税業者の負担になっている現実がはっきりしてきました。討論では、「課税事業者にならなければ仕事をもらえなくなる」との、免税事業者だった市内事業者の声を紹介しました。また、陳情者自身の意見陳述も紹介して、免税事業者が消費税を転嫁できていない実態を指摘。「そうした意見こそ、市民に最も身近な議会、蕨市議会が国に対してしっかりと示すべき意見」と訴え、賛成しました。